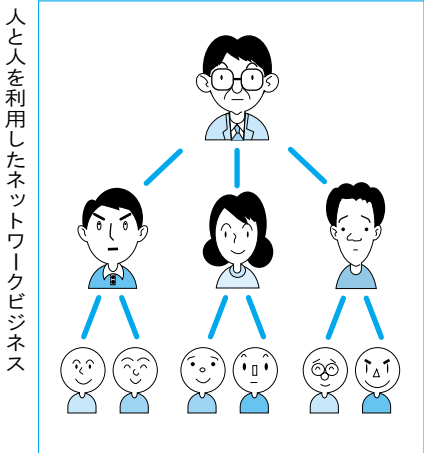


気をつけよう「うまい話」



人と人を利用したネットワークビジネス

○友人が「いいバイトがあるよ」と言うので喫茶店で話を聞いた。会員になって友人を紹介すると手数料が入ると言う。「会員になるには商品を買わなければならない」と言われ化粧品と健康飲料を契約した。お金は学生ローンで6万円を借りて払った。

その後、毎月化粧品が届き8

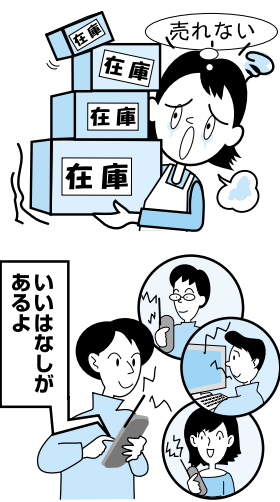
●消費生活相談室から・悪徳商法

化粧品を買って人を誘えば大もうけ？

0000円ずつ引き落とされた。また、友人を2、3人勧誘したので1万5000円収入があったが、使わない商品が増えるだけ。「人を誘うだけで収入がある」と言われたが、それは「その人に商品を買わせるために誘う」ということだった。購入した化粧品と健康飲料を解約し、会員をやめた。

(19歳男性)

このような商法を「マルチ商法」といいます。上の例では、商品を購入し続けなければならず、借金を抱えこんでしまいがちです。もうけるには新たな会員を誘い、商品を買わせるしかありません。商品購入のために人を誘うことは、友人を失うことにもつながりかねません。勧誘は、喫茶店などで楽しい気分させて行う例が目立ちます。「うまい話」には気をつけましょう。



人間関係もこわすマルチ商法

消費生活相談室
☎292・1000直通。

最近10年間の排出ごみ量と資源化率

平成	家庭系ごみ量(ト)	事業系ごみ量(ト)	資源化率(%)
5年度	27,316	5,093	15.6
6年度	28,088	4,492	18.5
7年度	28,944	4,769	17.5
8年度	29,495	5,230	18.6
9年度	26,704	6,025	22.2
10年度	26,809	6,702	22.5
11年度	27,047	6,582	23.2
12年度	27,546	6,691	24.1
13年度	25,619	8,222	25.2
14年度	24,666	10,228	27.0

※平成14年度は見込み値。

「ごみと資源の話」
「ごみ50%削減に向けて」
昨年度は「わたしたちリサイクル党」として、党員である市民のみならず、リサイクルに関する情報を発信してきました。先月号では、平成23年度市のごみ焼却処理量を13年度の50%に削減するという目標に取り組み、そのことを掲載しましたが、目標達成のため、さらに充実した内容が必要であると考えました。そこで今号から標記のタイトルで、みなさんとともに考え、取り組みたいと思っています。

ごみと資源の話

ごみと資源の話

①

市・市民・事業者の役割

分担で目標達成へ

事業所への期待 生ごみ処理機の普及

平成14年3月に策定した一般廃棄物処理基本計画では、23年度ごみ焼却処理の目標量を1万8500トと設定しています(13

年度は約3万2000ト)。減量のための重要な取り組みとして、最近急激な伸びを示している事業系ごみ(飲食店、事業所など

から出るごみ)の削減がありま

このため、今年度から生ごみ処理機購入費の助成内容を充実させました。変更点は、新たに事業者も補助対象としたことと、電動式の補助額を購入価格の2分の1以内で上限4万円(従来3万円)に引き上げたことです。これにより、事業所などへも生ごみ処理機が普及し、可燃ごみの削減が期待できます。また、一般廃棄物を多量に排出する事業者を指導の対象としています。今年度からは基準を強化して月間5ト以上(従来は10ト以上)、年間60ト以上(同120ト以上)を指導対象としました。そして、家庭系ごみの削減もとても重要です。次号以降で話をしていきます。

資源対策課(内54)

真夏の夜空に輝く蛍火を



湧水の小川に幼虫250匹を放流！6年生

が流れる小川にホタルの幼虫250

○4月1日、「目久尻川をきれいにする会」(飯田英榮会長)の主催で、杉本小学校の6年生35人が、同校前の「ふれあいたんぼ」脇と亀島自然公園の湧水

○3月30日、海老名市シルバー人材センター(三本松久助理事長)の会員450人が海老名駅周辺の清掃ボランティア活動を。当日午前9時30分集合した会員は、ストレッチ体操を行った後、4班に分かれて空き缶、空きびん、ペットボトル、可燃ごみなど分別収集。2時間かけて120袋分を回収。最近の缶、びんは減った反面たばこのポイ捨てが増えている。マナーを守ればもつときれいになるのよ」という声も…。

シルバー会員450人で駅前2時間清掃



まちかどニュース

○市消防本部が消防緊急通信指令システムを更新。位置が本部の画面で瞬時に確認できるとともに、30秒以内に地図つき指令書を各署に發送できるほか、消防車・救急車の現在地や病院情報等もすぐに検索可能。消防本部も「災害発生時に、より迅速



災害対応・新システムを導入



臭い市内巡回

交通安全に効果

○このほど海老名警察署に白バイが配置され市内を巡回しています。市内巡回・交通取締り、交通情報収集、事件・事故の緊急配備などのほか、要請があれば学校での交通安全教室にも参加。巡回中の白バイを見てシートベルトを締めたり、信号無視をやめるなど、すでに事故抑止効果が現れています」と同署。